

關流免許受諾ニ就テ

此ノ川北朝隣氏ノ手記ニアルカ如ク同氏ニハ忍ブ
ベカラザレ事情アツテ正統免許ヲ何人カニ傳フベキ
義勢ガアツニコレシ 不肖余ニ呈セラレタテアル余モ亦
餘儀ナクコレヲ受諾シタノデアル川北氏ハ余ノ師テハ
ナイ故ニソノ受授ハ普通ノ場合ト前々自任全然

相違スル

近頃三上義夫氏ハ余ノ免許ノ不正ナルヲ記述シテ
余が大ニソノ不正ナルモノヲ宣傳シテ世ヲ誤ラシムルモノヤ
イハレド余ハコレヲ宣傳セルコトナク又何等ソノ效ナキ
シヲ宣傳ニ用ニル理由ヲモ認メナイ
三上氏ノイハル川北氏ハ不正ハ同氏自身カソノ師

内田恭ヨリ印可免許ヲ受ケテ居ナイトシテ矣ニアル
併シテ印可免許ヲ得居ラザルモノト雖コレモ他ニ
授ケ得ナイ道理ハテイ進ンデ從來無キ新免許ヲ
授クルトモソレハ隨意デアル関流ノ免許ガ五段階トセラ
レホハオチ又トイフ憲法ハナイ、マタアリトモソレハ何余ガ任意ニ

定メタモノテアラウ

川北氏ガ余ニ呈セラレタル免許状所載ノ代々ノ正統
モ皆各自ソノ先代ヨリ印可免許ヲ得タルカ否カハ
更ニ少しモ判カラナイ唯関流最高ノ数學者ガ授ケラレテ
見レハヨイ

昭和六年十二月

林 鶴一